

道南地域での教育旅行の 普及について (教育旅行)

渡島総合振興局・檜山振興局

【取組の経緯】

北海道新幹線開業を契機とした新幹線効果を周辺の農村や漁村部へ取り込み、交流人口の増加による活性化や所得向上を図るため、教育旅行受入に向けた普及活動を開始した。

【道南地域の概要】

①地域の現状

道南地域は、太平洋と日本海、津軽海峡に囲まれ、温暖な気候であり、地域ごとに特色のある農業、林業、漁業等、バラエティ豊かな産業が展開されている。

また、新幹線や空港、歴史・文化の観光資源など、地域資源にも恵まれている。



②人口（2015年）

渡島：404,798人

檜山：37,870人

③主な産業

●農業

渡島地域は、農耕に適した期間が長く、稲作、畑作、野菜、花き、酪農、畜産など北海道農業の縮図と称されるほど全ての種類を網羅している。

檜山地域は、水稻や馬鈴しょを中心に豆類や野菜、酪農など、地域ごとに特色ある農業が営まれている。

●水産業

日本海、津軽海峡、太平洋・噴火湾と特性の異なる3海域に面し、ウニ・コンブ等の採介藻漁業をはじめ、ホタテガイやコンブの養殖業、定置網、イカ釣り、スケソウダラ刺し網など、多種多様な漁業が行われており、道内有数の漁業生産地域となっている。

●観光業

全国的に有名な函館、大沼、松前といった観光スポットや、北海道の中でも他地域と異なる気候風土や歴史文化を有しているだけでなく、多彩な食を楽しむことができるため、人気の観光地となっている。

【教育旅行受入までの取組】

①経緯と流れ

○本州の学校からは道南地域への教育旅行を希望する声が多かったが、教育旅行の空白地域であったので、機運醸成のためのセミナーを開催



○受入農家を増やすべく、農家に対しアンケートを実施



○受入に興味があると答えた生産者を個別訪問



○実際の受入の様子などを知ってもらうために、農家や行政担当職員を対象として、先進地への視察研修を実施



教育旅行の受入

②受入に関するハードルの解消

教育旅行の受入を長期的に継続していくためには、生産者の負担を減らす仕組みが必要と考え、民間企業と連携

【生産者が負担に感じること】

- ・学校や旅行会社との調整
- ・生徒の送迎
- ・作業着や長靴などの道具の用意
- ・生徒の分の食事を作ること



解決のためには

「コーディネーター役となる事業者」が必要

有限会社マルベリーとの連携

※マルベリーのスキームでは、上記の負担がほとんど無い

【教育旅行受入実績】

①受入実績

年度	受入生産者数	学校数	生徒数
H30	29	1	144
R1	54	3	472
R2（予定）	—	9	1720

②受入生産者の感想

- ・知識が無い人に対して農業を説明することで、自分の理解も深まった。
- ・会話の内容に苦労したが、若い人と話すのは楽しかった。
- ・時間があつという間に過ぎ、最後は寂しさを感じるほど楽しかった。
- ・自分たちが当たり前だと思っていたことが、都会の人たちにとっては当たり前では無いと気づき、改めて農業や農村の良さを知ることができた
- ・副収入や個人ブランドの確立などにもつながると思った。

③課題・今後の展望

- ・受入生産者数の増加
- ・地域による受入生産者数の差の解消
- ・コロナ禍でも教育旅行を受け入れることができるような体制づくりや意識醸成
- ・各種商談会等において、道外からの教育旅行受入拡大を推進
- ・教育旅行の実施を希望する学校と教育旅行を受け入れる地域の生産者間の連絡調整、受入時の円滑なサポート等を担うことができる人材の育成

【主なセミナー等の内容】

① 農山漁村の資源を活かした体験型観光・教育旅行受入セミナー

- 1 日時 平成29年12月11日（月）
- 2 場所 渡島総合振興局3階講堂
- 3 内容 ・独特な生活文化に支えられた「農村ツーリズム」を始めませんか？（まちづくり観光デザインセンター 代表 かとう けいこ氏）
・一次産業の現場で教育旅行生等の受入を行っている(有)マルベリーの取組について ((有)マルベリー代表取締役 松橋 秀人氏)

② 教育旅行・農村ツーリズムセミナー

- 1 日時 平成30年1月19日（金）
- 2 場所 せたな町民ふれあいプラザ
- 3 内容 ・北海道の農村ツーリズムの取組について（農政部農村設計課）
・五感を通じた気づきと学びを伝える～マルベリーの取組
((有)マルベリー代表取締役 松橋 秀人氏)

③ 教育旅行受入に関するアンケート調査、訪問の実施

- 1 日時 平成30年6月～
- 2 内容 生産者を掘り起こすため、アンケート調査を実施
アンケート後、生産者を個別訪問し、内容等について説明

④ 先進地現地研修会

- 1 日時 平成30年8月28日（火）～29日（水）
- 2 場所 後志管内蘭越町、黒松内町
- 3 内容 ・既に受入を進めている地域からの助言
・受入手法や行動などの確認

⑤ 先進地現地研修会

- 1 日時 平成30年10月16日（火）～17日（水）
- 2 場所 後志管内蘭越町
- 3 内容 ・受入現場の視察、受入を行っている農家との意見交換
・受入手法や行動などの確認

⑥ 教育旅行受入に係るセミナー

- 1 日時 平成30年11月8日（木）、9日（金）
- 2 場所 八雲シンフォニー、北斗市農業振興センター
- 3 内容 ・後志での視察研修の結果について情報共有（渡島総合振興局農務課）
・(有)マルベリーの取組に係る情報提供 ((有)マルベリー松橋代表)

☆ 教育旅行の受入（1回目）

- 1 日時 平成31年3月2日（土）～3日（日）

⑦ 教育旅行受入に関するアンケート調査、訪問の実施

- 1 日時 平成31年4月～
- 2 内容 生産者を掘り起こすため、アンケート調査を実施
アンケート後、生産者を個別訪問し、内容等について説明

⑧ 先進地現地研修会

- 1 日時 令和元年6月24日（月）～25日（火）
- 2 場所 後志管内蘭越町、ニセコ町、寿都町
- 3 内容 ・受入現場の視察、既に受入を行っている農家との意見交換
・受入手法や行動などの確認

☆ 教育旅行の受入（2～4回目）

- 1 日時 令和元年6月30日（日）～7月1日（月）
令和元年9月4日（水）～5日（木）
令和元年10月15日（火）～17日（木）

※上記の他、生産者間における情報共有のための事後報告会等を開催

【連絡先】

渡島総合振興局農務課 (TEL 0138-47-9497)

檜山振興局農務課 (TEL 0139-52-6571)